

テーマ：消費者物価（全国11月、東京都区部12月） 発表日：2007年12月28日（金）
 ～12月には上昇幅はさらに上昇幅拡大へ。生活必需品価格上昇が消費抑制要因に～

第一生命経済研究所 経済調査部
 担当 主任エコノミスト 新家 義貴
 TEL：03-5221-4528

（単位：％）

		全国					東京都区部				
		総合	生鮮除く総合	食料(酒類除く)及びエネルギー除く総合	石油製品	携帯電話通信料	総合	生鮮除く総合	食料(酒類除く)及びエネルギー除く総合	石油製品	携帯電話通信料
		前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
06	1月	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.7	11.0	▲ 7.3	▲ 0.3	▲ 0.4	▲ 0.6	9.6	▲ 7.3
	2月	▲ 0.1	0.0	▲ 0.5	13.5	▲ 7.3	▲ 0.3	▲ 0.2	▲ 0.5	11.7	▲ 7.3
	3月	▲ 0.2	0.1	▲ 0.5	14.0	▲ 7.3	▲ 0.4	▲ 0.1	▲ 0.3	11.8	▲ 7.3
	4月	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.6	9.3	▲ 7.3	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.3	6.9	▲ 7.3
	5月	0.1	0.0	▲ 0.5	11.3	▲ 6.6	0.0	▲ 0.1	▲ 0.2	9.7	▲ 6.6
	6月	0.5	0.2	▲ 0.4	12.3	▲ 6.6	0.3	0.0	▲ 0.3	11.3	▲ 6.6
	7月	0.3	0.2	▲ 0.3	11.3	▲ 6.6	0.2	0.0	▲ 0.1	10.9	▲ 6.6
	8月	0.9	0.3	▲ 0.4	13.2	▲ 6.6	0.8	0.0	▲ 0.2	13.3	▲ 6.6
	9月	0.6	0.2	▲ 0.5	11.5	▲ 6.6	0.5	0.0	▲ 0.3	11.5	▲ 6.6
	10月	0.4	0.1	▲ 0.4	9.0	▲ 6.6	0.4	0.1	▲ 0.1	8.2	▲ 6.6
	11月	0.3	0.2	▲ 0.2	5.9	▲ 0.3	0.2	0.2	0.0	4.7	▲ 0.3
	12月	0.3	0.1	▲ 0.3	5.3	▲ 0.3	0.3	0.2	0.0	4.1	▲ 0.3
07	1月	0.0	0.0	▲ 0.2	3.4	▲ 0.2	0.1	0.2	0.1	2.6	▲ 0.2
	2月	▲ 0.2	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 0.6	▲ 2.3	0.0	0.0	▲ 0.1	▲ 0.5	▲ 2.3
	3月	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 0.4	▲ 1.4	▲ 4.1	0.1	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 1.4	▲ 4.1
	4月	0.0	▲ 0.1	▲ 0.2	▲ 0.6	▲ 4.1	0.1	0.0	▲ 0.2	0.0	▲ 4.1
	5月	0.0	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 0.4	▲ 4.1	0.0	0.0	▲ 0.2	▲ 0.1	▲ 4.1
	6月	▲ 0.2	▲ 0.1	▲ 0.4	1.4	▲ 4.1	▲ 0.2	▲ 0.1	▲ 0.3	2.5	▲ 4.1
	7月	0.0	▲ 0.1	▲ 0.5	2.1	▲ 4.1	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.3	3.1	▲ 4.1
	8月	▲ 0.2	▲ 0.1	▲ 0.2	0.4	▲ 4.1	▲ 0.3	0.0	▲ 0.2	0.7	▲ 4.1
	9月	▲ 0.2	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 0.3	▲ 4.1	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 0.4	▲ 4.1
	10月	0.3	0.1	▲ 0.3	2.3	▲ 4.1	0.1	0.0	▲ 0.3	2.8	▲ 4.1
	11月	0.6	0.4	▲ 0.1	9.3	▲ 3.9	0.3	0.1	▲ 0.1	11.0	▲ 3.9
	12月	—	—	—	—	—	0.4	0.3	▲ 0.1	16.8	▲ 3.9

(出所)総務省統計局「消費者物価指数」

○ 石油製品の寄与度拡大で説明可能

11月の全国消費者物価指数（生鮮食品除く）は前年比+0.4%と、10月の同+0.1%から伸びが大きく高まった（コンセンサス：同+0.3%、レンジ+0.2%～+0.4%）。また、12月東京都区部（生鮮食品除く）も前年比+0.3%と前月（同+0.1%）から上昇した（コンセンサス：同+0.3%、レンジ+0.1%～+0.3%）。全国CPIコアは98年3月以来の伸び率。また、12月の東京都区部の動向から判断すると、12月の全国CPIコアの上昇率はさらに高まる可能性が高い。08年春頃までCPIコアは上振れ気味に推移するだろう。

11月の上昇のほとんどは石油製品（CPIコアへの寄与度：10月+0.10%pt→11月+0.38%pt）で説明できる。このところ、石油製品の動向によってCPIが振り回される展開が続いている。その他については衣料品が若干上昇したことが若干目をひいた程度であり、大きな動きはなかった。

特殊要因除くコア（※）の寄与度は+0.05%pt（10月+0.04%pt）と2ヵ月連続でプラスとなった。また、10%刈り込み平均値を試算すると、11月は前年比+0.29%と、10月の同+0.21%から伸びが拡大している。

※ここでは、米類、電気代・都市ガス、石油製品、保険医療サービス、固定電話通信料、携帯電話通信料、たばこを特殊要因としている。

○ 12月東京都区部も伸び率拡大

12月の東京都区部消費者物価指数は前年比+0.3%と、前月（同+0.1%）から上昇幅が拡大した。石油製品価格が前年比+16.8%（11月同+11.0%）とプラス幅を大きく拡大させたことの影響が大きかったほか、値上げが行われたパン（11月▲0.8%→12月+5.8%）や、タクシー代（11月0.0%→12月+4.4%）などが上昇に寄与している。なお、特殊要因除くコアは比較的大きく改善した（CPIコアへの寄与度：11月▲0.01%pt→12月+0.12%pt）。

最近注目が集まっている食料品価格（除く生鮮食品）については、11月の全国では前年比+0.3%（10月同+0.3%、CPIコアへの寄与度：10月+0.07%pt→11月+0.07%pt）と前月から変化はなかったが、12月の東京都区部では同+0.4%（11月同0.0%、CPIコアへの寄与度：11月0.00%pt→12月+0.09%pt）と上昇した。東京都区部については、前述の通り食パンを中心にパン価格が上昇した影響が大きい。そのほかにも値上げを表明しているメーカーは数多く、今後も食料品価格が押し上げられる可能性は高い。ただし、値上げが予想される品目のウェイトはかなり小さいことに加え、報道されている値上げはメーカー段階のものが多く、小売価格の上昇には繋がっていないものが多い。そのため、食料品値上げの影響は報道から受ける印象と比べてかなり小さいことには注意しておきたい。生活に身近であるため消費者の実感という観点では影響が大きいことは確かだが、実際の消費者物価のトレンドを決定するほどの力はないと考えられる。

○ 12月の全国CPIコアは+0.6%程度に上昇幅拡大の見込み

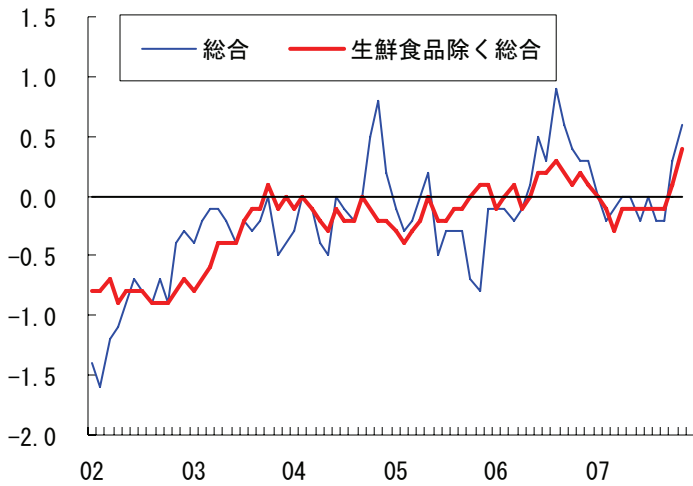
東京都区部の動向から試算すると、12月の全国消費者物価指数（コア）は前年比+0.6%程度にプラス幅が拡大すると予想される。これは、石油製品（CPIコアへの寄与度：11月+0.38%pt→12月+0.60%pt）のプラス寄与が引き続き拡大するためである。石油製品のウェイトは東京都区部と比較して全国では3倍程度あるため、影響は東京都区部でみるよりもかなり大きくなる。また、パンやタクシー代も若干上昇に寄与するだろう。

石油製品価格については当面高い伸びが続くと予想される。原油価格が高止まりを続けていることに加え、昨年の同時期に石油製品価格が低下していたことも前年比でみた押し上げ要因になる。表面上の数字で見れば、来年春頃までのCPIは上振れてくる公算が高い。

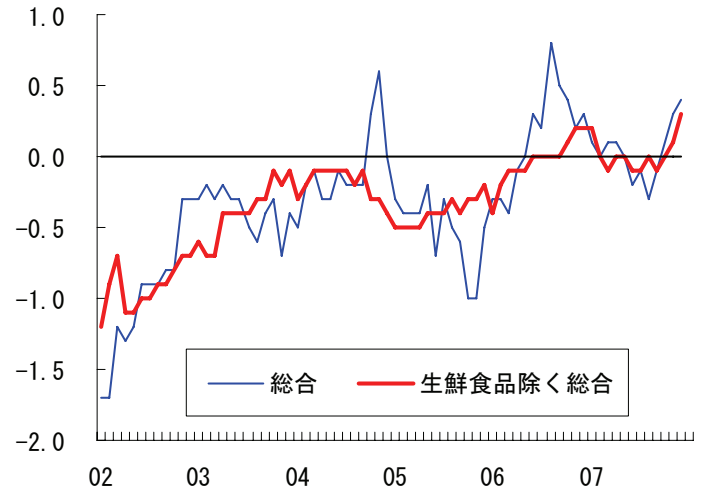
もともと、原油価格の上昇にもっぱら頼った形で消費者物価がプラス転化したとしても、それをもってデフレ脱却とは言えない。むしろ、家計の購買力低下やマインド停滞が個人消費を下押しする可能性や企業収益の圧迫から設備投資が抑制される可能性など、原油価格上昇が景気に与える悪影響に注目すべきだ。マインド悪化に引きずられる形で今後消費が大幅に悪化するようなことがあれば、一気に景気後退も視野に入ってくるだろう。

なお、CPIコアは、08年春まで高め（あくまでこれまでのマイナス状態に比べればの話だが）の伸びが続いた後、石油製品価格の上昇寄与が剥落することにより、再びプラス幅は縮小に向かうと予想される。

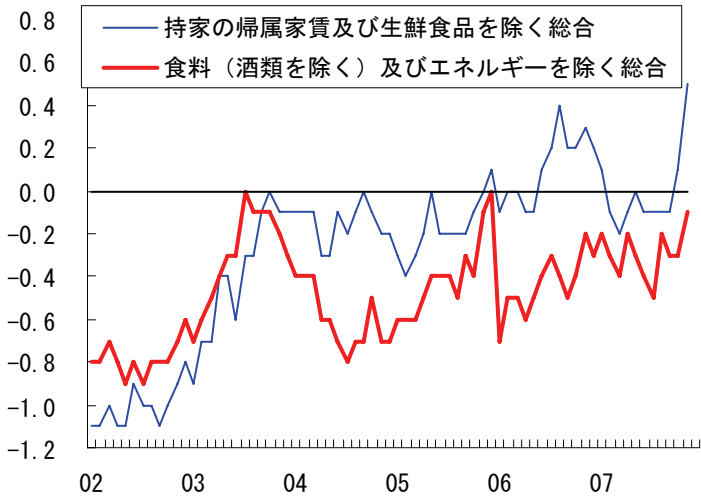
全国消費者物価指数（前年比、%）



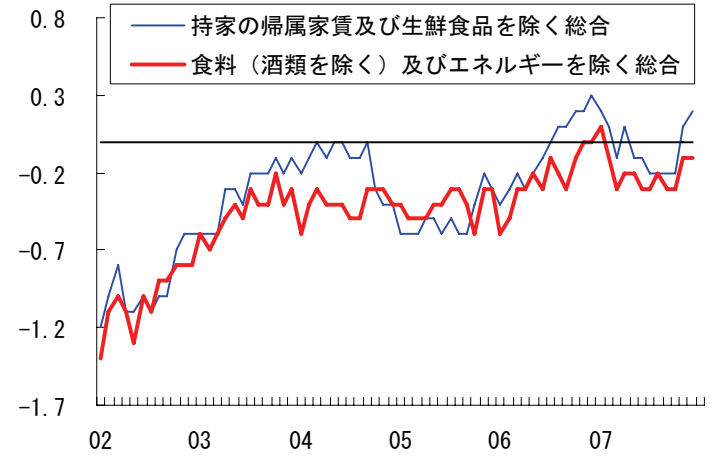
東京都区部消費者物価指数（前年比、%）



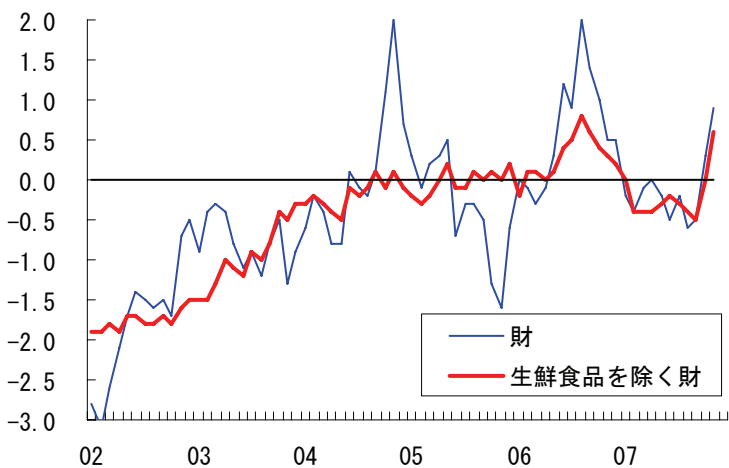
全国消費者物価指数（前年比、%）



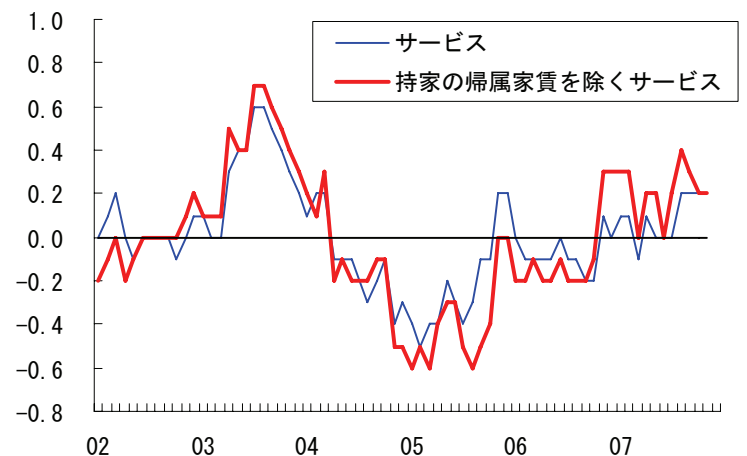
東京都区部消費者物価指数（前年比、%）



全国消費者物価指数（前年比、%）

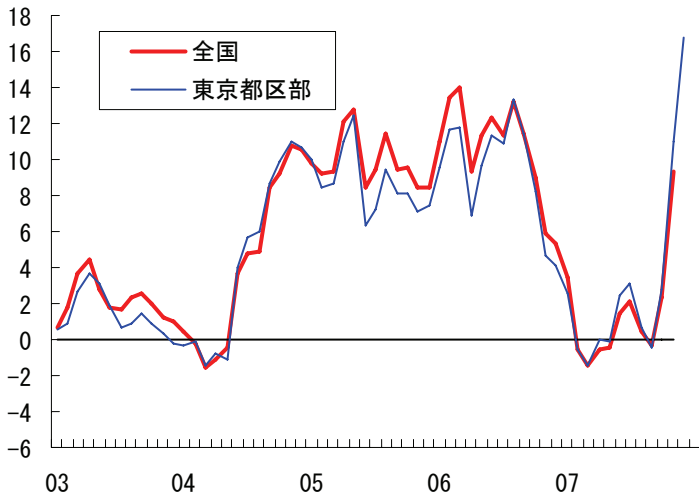


全国消費者物価指数（前年比、%）

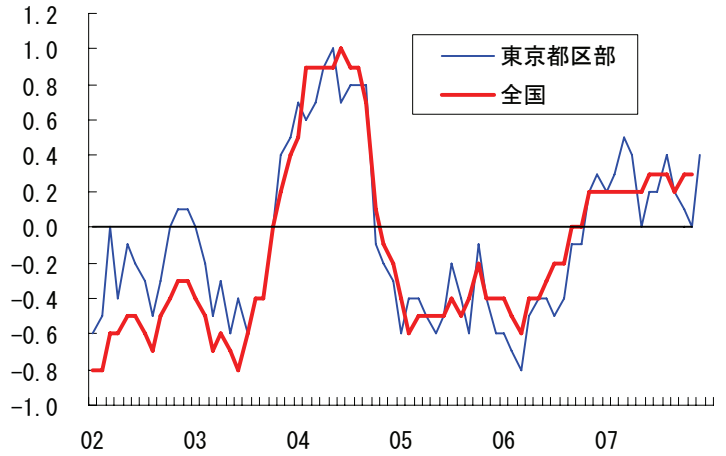


本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

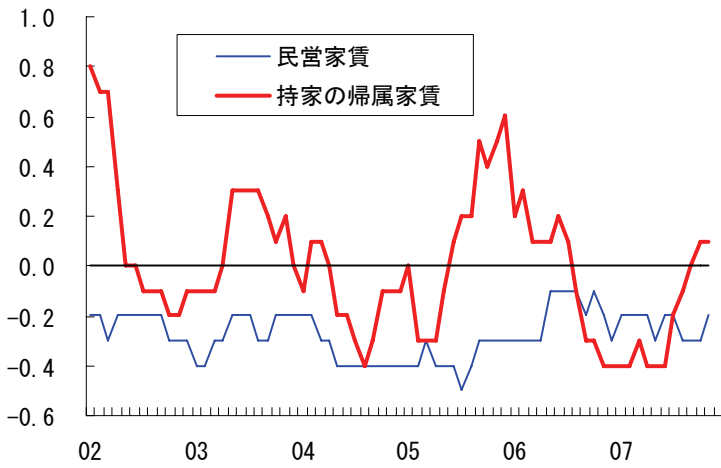
石油製品（前年比、%）



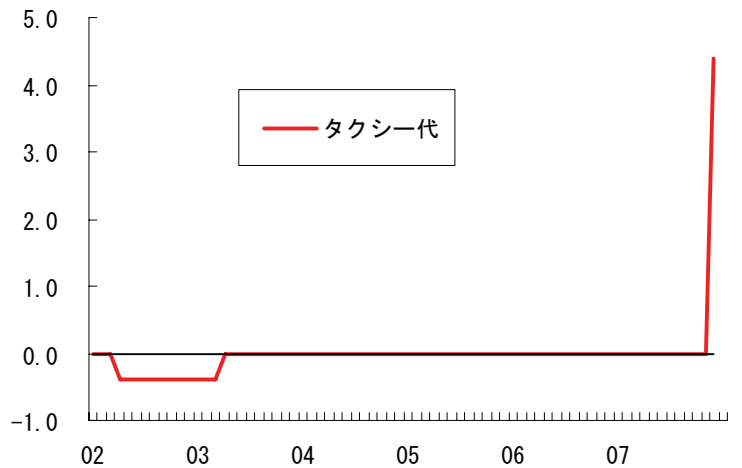
生鮮食品を除く食料（前年比、%）



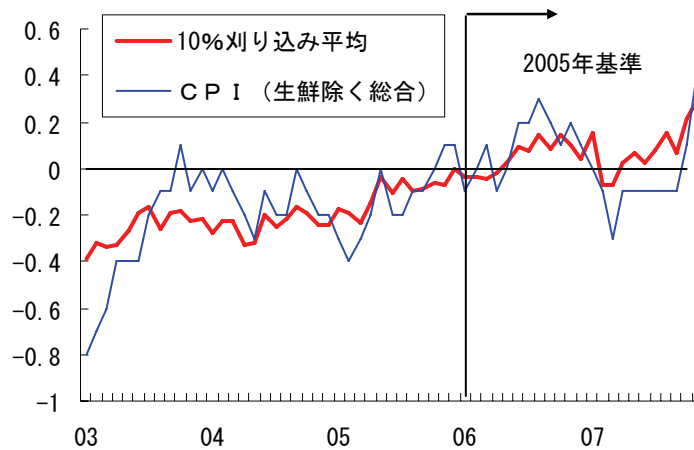
全国消費者物価指数（前年比、%）



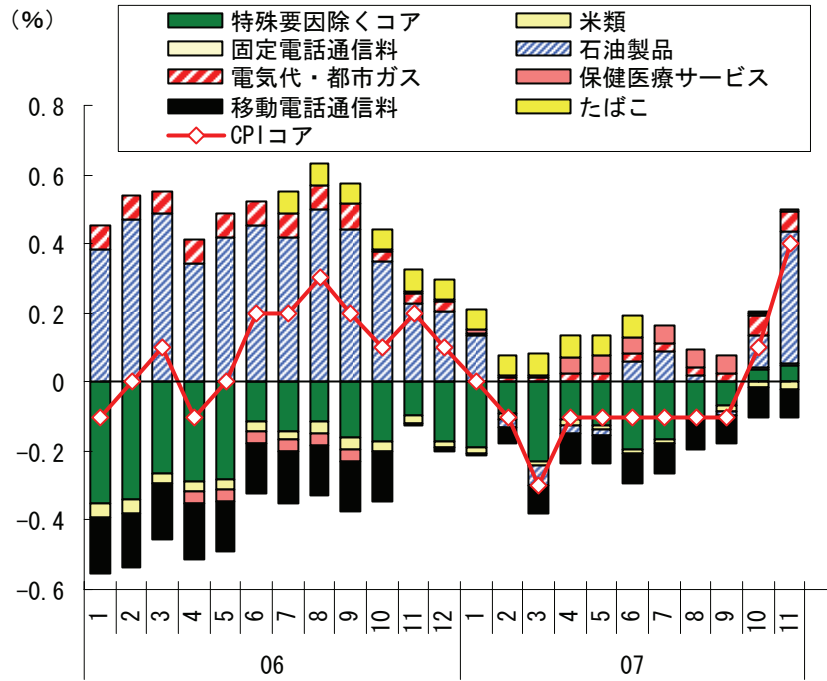
東京都区部消費者物価指数（前年比、%）



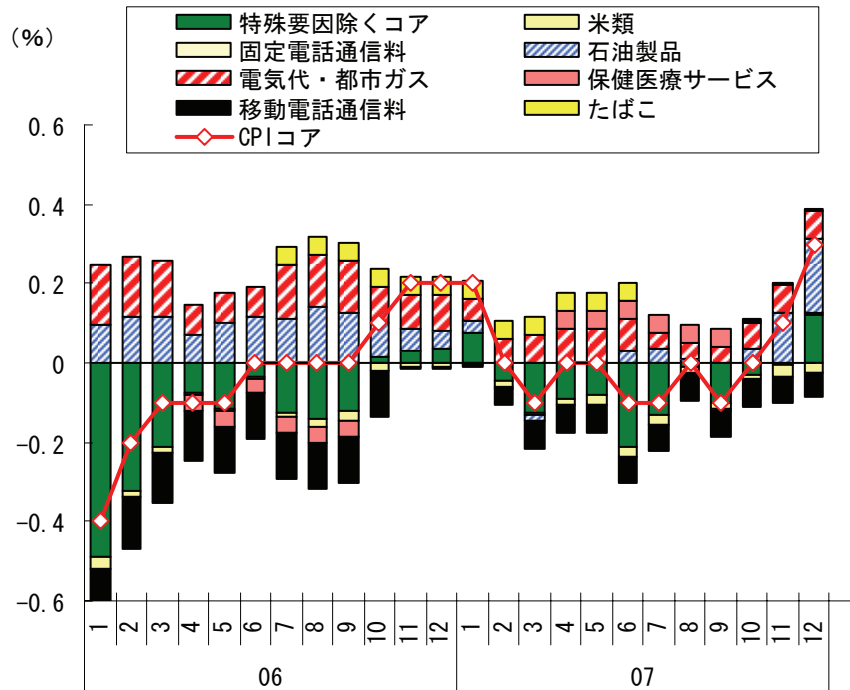
CPIコアと刈り込み平均値（前年比、%）



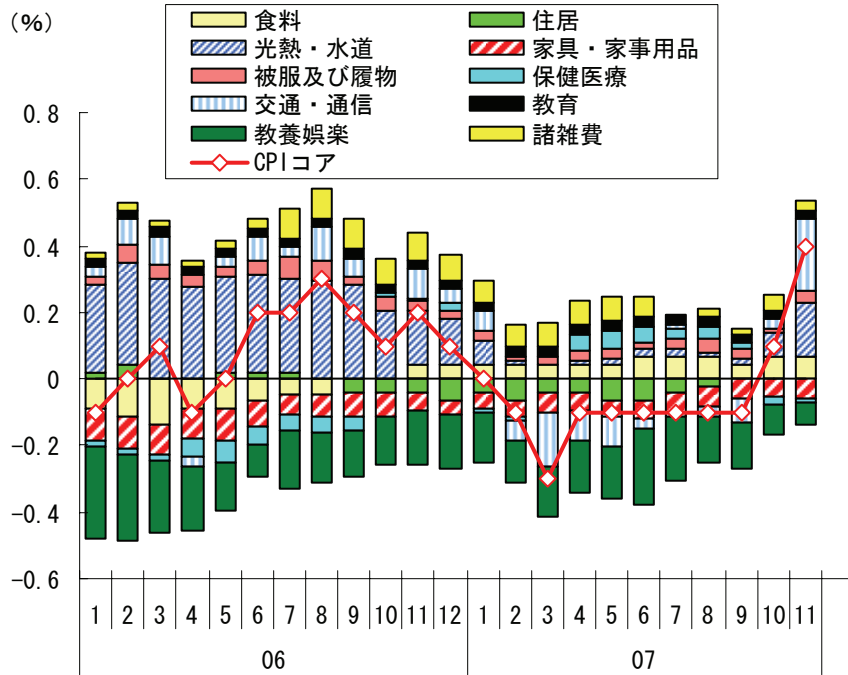
全国・消費者物価コア前年比



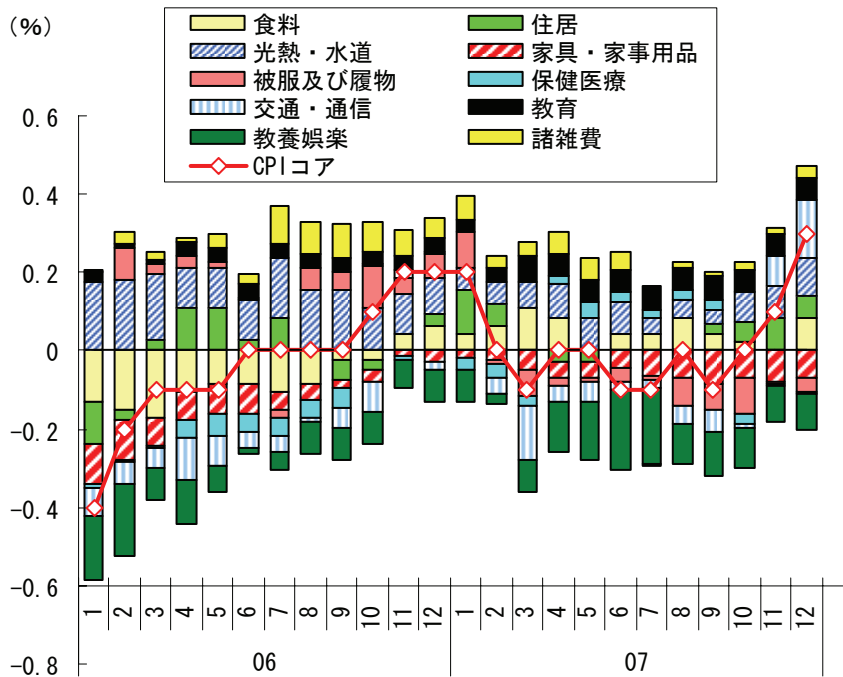
東京都区部・消費者物価コア前年比



全国・消費者物価コア前年比



東京都区部・消費者物価コア前年比



グラフの出所はすべて総務省統計局「消費者物価指数」